



学校だより
きたこいわ
北小岩



ホームページアドレス <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/kitakoiwa-e/>

令和6年度

No. 9 (642号) 1月号

令和7年 1月8日発行

江戸川区立北小岩小学校

校長 藤島 寿晴

2025年の年頭に

令和7年、2025年がスタートしました。東京は晴天が続き、大きな事件や事故なく、穏やかで静かな年末年始となりました。子供たちは12月26日から1月7日までの13日間、冬休みをどのように過ごしたのでしょうか。私はこの正月は「実業団駅伝」「箱根駅伝」「大学ラグビー」「高校サッカー」とスポーツ観戦三昧で過ごしました。これから3か月間、令和6年度の締めくくりとなる3学期が始まると毎年感じるのですが、あっという間に年度の終わりを迎えます。

近年、社会情勢が急激に劇的に変化し、学校もこれまで当然の如く行っていたことが、変革を余儀なくされることも多くあり、私を含め諸先輩方はこれからの社会に不安を感じているところだと思います。しかし思い出してみると自分が社会に出たとき、当時の先輩諸氏から「大変だね。これからの人は。」と言われていた場面があったように思います。私が若かりし時代も今も、そういうところは変わっていないでしょう。

人間は先代から引き継いできた世の中がどのような形であれ、自分たちを適応させ、新しい世の中を作り後世に繋いできたことは、これまでの歴史が示しています。常に先行きが見通せないことは、昔も今も変わらないということでしょうか。スポーツ観戦以外に正月に観たTV番組で、大昔の中国の国家形成と滅亡の原因を紹介する内容のNHKドキュメンタリーがありました。日本の漫画で有名な「キングダム」や吉川英治氏が書いた「三国志」などで取り上げられている現在の中国大陸にあった古代国家が「英雄」の出現で建国されても、国の崩壊は決まって「民衆」が起こすという件に多いに興味を注がれました。リーダーは民衆の中から生まれ、新しい世の中を創る原動力になりますが、世の中をよりよく維持し次の時代へとバトンを運ぶのは、社会を構成する民つまり我々であると教えることが、学校教育の使命なのだと思いで一杯飲みながら寝ころがって観ていました。



社会の構成員としての素養を育てていくためには、「かかわる」力を伸ばしていくことが大切です。そのためには、まず自分自身のことを知ること、自分を取り巻く人やものや動きに関心をもつこと、そしてそれらに対してかかわろうとする意欲をもち続けることが必要となります。かかわりを通して求められる「自分で考える力」を付けるために、学校では教科や行事などを通じて学ぶ機会を設けています。その時には必ず一人ではなく、他者との協同を通じて、様々な思考や感情を学び身に付けていきます。それは学校に通う子供たちだけでなく、教職員も保護者も同じです。大人だからといって、必ずしも正解の答えをもっているわけではなく、子供たちと同じように生きている限り学び続けていく、そのような場所にふさわしい北小岩小学校を創っていきたいという年頭の抱負で、巻頭言を締めくくらせていただきます。今年も何卒よろしくお願いいたします。

「もっとやらせたい」という気持ち

特別支援巡回教員・主任

普段は、勉強することが嫌い(または、苦手)な子供が、頑張って学習課題を仕上げると、私たち大人はとても嬉しくなりますね。そして「もっとやらせれば、もっとできるようになるかもしれない」「もっと難しい課題をやれば、もっと学力を伸ばせるかもしれない」と思い、さっそく課題の分量を上乘せしたり、さらに難易度をアップさせた課題を追加させたりすることがあります。子供の成長を願う大人の気持ちはよくわかりますが、実はここが誰もが陥りやすい「落とし穴」かもしれません。

例えば、登山をしている状況をご想像ください。頑張って歩いて、頂上にやっとたどり着いた！やったあ！と思っていたら、「ここは頂上ではないよ。あそこが頂上だよ」と言われ、そちらを見ると、まだその先に頂上があった・・・まだ歩かなければいけない・・・これでは、気持ちが落ち込み、意欲も失われてしまうでしょう。学習も同じです。やったあ！頑張った！と達成感でいっぱいになっていたら、さらに課題が追加されてしまった！となるわけです。その都度ゴールを決め、余裕をもって少しずつの頑張りを継続させるほうが、「力」として蓄えられます。勉強することがあまり好きでない、苦手感をもっているケースでは、予め学習する分量や範囲を決めておくこと。ゴールを決めておくと、どれくらい頑張ったらよいか見通しをもつことができ、意欲を持続させやすくなります。余力があっても時間が経っても、はじめに決めた通りに終わりにすること。「できた！」「やった！」という達成感で締めくくる。「ボク、もっとできるよ」と、余力を残したところで終わると、次回につながりやすいです。また、具体的に子供の行動や、頑張っていた課程を言葉にして褒めると、より効果があると言われています。そして何よりも「他の子と比べないこと」これを忘れないでほしいと願っています。

☆特別支援教室では、お子さんのもつ「困り感」について、またご家庭での支援について、相談を受け付けています。特別支援の教員はもちろんです。担任の先生や養護教諭などにお声かけください。

1月の目標

- ◎生活目標 . . . 寒さに負けない体をつくりましょう
- ◎安全目標 . . . みんなで安全に避難しましょう
- ◎保健目標 . . . 外で元気に遊びましょう
- ◎給食目標 . . . 好き嫌いしないで食べましょう



かけがえのない大切な一人

令和6年もあっという間の1年でした。今年の冬休みは、家族でゆっくりと過ごすことができましたでしょうか。

近年、子供の相談ホットライン（相談場所）についてのお便りを多く配布させていただいています。その背景には、子供に悩み事があるとき、周りに打ち明けられず、苦しんでしまう子が多くなっていることが挙げられます。悩んだ末に、心と体がとても傷つき、元の生活に戻ることが困難な状況になってしまうことがあることも聞きます。悩むこと自体は生きていく上でどうしようもないことなのですが、それを乗り越えていくことがまだ一人では難しいお子さんがいることも事実です。一人で悩んで自分自身を追い詰め過ぎないこと、何かあれば気軽に相談できる場所があること、相談する方法もいろいろあることを子供たちには伝えていきます。



学校徴収金について

1月の引き落とし日は、**1月14日（火）**です。

各月の教材費や積立金なども引き落とされますので、1月10日（金）までに残高の確認・ご入金をお願いいたします。引き落としがされなかった場合は、学校に直接お持ちいただくことになります。その際は、現金での事故につながらないよう、保護者の方にお持ちいただきます。ご了承ください。

校内書き初め大会

日本の伝統行事に触れる機会として、本校では毎年、年の始めに書き初めを行っています。1・2年生が硬筆で、3～6年生が毛筆での書き初めです。手本をよく見て文字の形・大きさ・字配りなどを考えて作品を書くことが目標です。1月17日（金）から24日（金）まで教室前に作品を展示します。保護者の皆さまには、平日14時～16時、18日（土）は1校時～3校時終了までご鑑賞いただけます。この機会に是非ご覧ください。



1月の行事予定		SC：スクールカウンセラー来校
日	曜	行事
1	水	元日
2	木	主な2月の予定 3～5日：ウインタースクール（5年） 21日：6年生を送る会 28日：6年卒業を祝う会
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	冬季休業日終
8	水	始業式 B時程午前
9	木	B時程午前 給食始 書き初め大会（3・6年）
10	金	B時程午前 書き初め大会（4・5年）
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	全校朝会 安全指導日 ALT SC
15	水	B時程 発育測定（1～3年）
16	木	発育測定（4～6年） なかよし班集会
17	金	校内書き初め展覧
18	土	学校公開 B時程 薬物乱用防止教室（6年） ものづくり授業（5年）
19	日	
20	月	学校公開（2～4校時） 長縄週間始 江戸川っ子STUDY WEEK（～28日）ALT 野口英世、理研ワカメ教室（5年、234h） クラブ活動（3年見学）
21	火	避難訓練 ALT SC
22	水	
23	木	B時程
24	金	校内書き初め展覧終
25	土	漢字検定
26	日	
27	月	全校朝会 ALT 小岩四中チャレンジザドリーム（～29日）
28	火	北小岩タイム（2年）ALT SC
29	水	タグラグビー教室（3年）
30	木	長縄集会（中休み） 長縄週間終
31	金	長縄予備日 ウインター事前検診（5年）